

NGV Information

天然ガス自動車

【発行】東邦ガス株式会社 天然ガス自動車推進グループ 【制作協力】名古屋市環境局公害対策部交通公害対策課

ごみ収集車特集

今、全国各地の自治体におけるごみ収集で、天然ガス自動車活躍中です。東海地区においても、愛知県では名古屋市、岡崎市、刈谷市、安城市、知多市、豊明市、長久手町、師勝町に、岐阜県では岐阜市に導入されており、引き続き、愛知県春日井市、瀬戸市、半田市、三重

県四日市市にも導入が予定されています。清潔で快適な市民生活を守る本来の役割と、自動車自体が低排出ガスという理想的な組み合わせであることに加え、新規購入・改造に対する充実した補助金制度ともあいまって、今後も一層の普及が期待されます。

* 天然ガス自動車を導入している自治体 *

名古屋市



岡崎市



刈谷市



安城市



知多市



豊明市



長久手町



師勝町



岐阜市



※今年度中に導入される自治体：瀬戸市、半田市、春日井市、三重県四日市市

こんなにたくさん
活躍しています！

愛知、岐阜、三重で

97台！

(平成16年11月末現在)

全国で

2,050台

のごみ収集車が
活躍しています。

(平成16年9月末現在)

市民の声

いつごろからか、ごみ収集車が外を回っている時間帯でも、音がとても静かだなんて感じるようになりました。道路沿いの家に住んでいる身にはうれしいですね。街をキレイにしてくれる車が、排ガスも少なくって環境に貢献してるなんて、さすがだなあって思います。

(名古屋市在住・戸谷 祥子さん)



岡崎市民病院さまの取り組み

岡崎市は市を挙げて、低公害車の導入に積極的に取り組んでいます。その一環として、同市民病院内の塵芥収集車にNGVが採用され、活躍しています。関係者各位から、お話を伺いました。



岡崎市民病院事務局次長 総務課長兼務
杉浦 豊彦さま

「導入の好条件に恵まれました」

岡崎市民病院から出る有害可燃ごみ等の廃棄物収集運搬を目的として保有していたディーゼル車が「自動車NOx・PM法」により平成16年9月30日以降の使用が認められなくなり、買い替えの必要が生じました。

運転手さまより

◆排気ガスがクリーンで作業も快適です
パワーは十分で、ディーゼル車のような黒煙が発生せず音も静かで、車の後方での作業も気持ち良く行えます。エンジンオイルも汚れにくく、車を常にきれいな状態に保てることも魅力ですね。今後については、特に燃料設備の整備が一層進むことに期待しています。



同院 総務課 施設管理班
NGV運転手
千賀 春雄さま

当初はディーゼル車での新車購入を検討しましたが、岡崎市内で天然ガス専用のスタンドが作られる予定があり、本院から適切な距離で、時期も本院の車の導入時期と合致したため、低公害車であるNGVが検討対象となりました。本院は環境マネジメントシステムISO14001によって、継続的な環境の保全・改善に取り組んでいる施設であり、また今回の塵芥車の更新が環境を守るための法律に基づいていることから、環境にやさしいNGVの導入を決定しました。



市役所さまより

◆「今後も低公害車の普及に努めます」

岡崎市では、公用車への低公害車(電気・天然ガス・メタノール・ハイブリッドおよび三つ星^{*}以上)導入を推進しており、各年度5台以上を目標としています。NGVは、本年度ごみ資源収集車として4台、平成15年度末までに11台購入しました。今後も積極的に低公害車導入に取り組めます。

※三つ星：国土交通省の「超・低排出ガス」認定を取得した自動車。



岡崎市環境部 環境総務課
環境管理班 主事
古瀬川 英樹さま

愛知県環境輸送事業協同組合さまの取り組み

愛知県環境輸送事業協同組合は、名古屋市民の生活ごみの収集業務に携わる企業14社からなる組織です。生活環境に深く係る業務を通じての視点から、NGV導入の現状や今後の展望について、理事長の齋藤靖人さまにお話を伺いました。

現在のところ、組合全体では5社で合計51台のNGVが導入されています。

実際に使うと、燃費や運転感覚など、改善の余地を感じる部分もありますね。しかし、2t車は経済性からも遜色のないレベルに近づいていますし、天然ガススタンドの整備も進んで、名古屋市内という業務エリアでは、十分実用できる状態になりつつあります。

環境にやさしいNGVの導入は、私たちの業務内容、そしてISOを取得する企業としての指向とも合致します。象徴的な意味だけでなく、例えばPMの発生は0だから、30台の中の1台がNGVになれば、全体で

「生活環境に関わる業種として導入に意義を感じています」

愛知県環境輸送事業協同組合 理事長
齋藤運輸株式会社 代表取締役
齋藤 靖人さま



3~4%の削減になる。その点でも意義深いですね。

また、これからの企業の生き残りという点から考えていけば、従来から続いてきた方法が必ずしも完成形と言うわけでもありません。今後、燃料コストなどが安定し、低公害車が主流となる時代を意識し、企業の体質を変えていく工夫をすることも大切です。

現在も、実際の運行データを集めながら、より経済的・効果的な運転法の検討などを行っています。収益性との関係もあり、一気にとはいきませんが、成果を見極めつつ今後の導入も視野に入れたいと思います。

天然ガス自動車に関するお問い合わせ

東邦ガス(株) 天然ガス自動車推進グループ
〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19-18

電話: 052-872-9356
FAX: 052-881-0008

